

宗岡中だより



4月号 平成31年4月8日(月)
志木市上宗岡1-8-1 TEL 048-471-2241

「新たなる 時代を迎え 進学す」

校長 佐藤哲浩

春陽麗和の心地よい季節を迎え、平成31年度の志木市立宗岡中学校の教育活動が始まります。お子様のご入学、ご進級、誠におめでとうございます。子どもたちは進学、進級を機に、新たな志をもって張り切っていることと思います。この志を持ち続け、充実した中学校生活を送って欲しいと思います。本年度は1学年138名、2学年127名、3学年120名、ひまわり学級4名、計389名、教職員44名でスタートします。目指す学校像「師弟同行」の具現化に向け、教職員一同「チーム宗岡」で教育活動を推進してまいります。



さて、今月1日に新元号「令和」が発表されました。新しい元号「令和」は、『万葉集』の「初春の令月にして 気淑（よ）く風和らぎ 梅は鏡前の粉を披（ひら）き 蘭は珮後（はいご）の香を薫らす」の一節から取ったものです。安倍首相は記者会見で、「令和には、人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つという意味が込められている」と談話を発表しました。そして、歴史上初めて国書を典拠とする元号を決定したことについて、「万葉集は1200年あまり前の歌集ですが、その内容も当時の人々の暮らしや息遣いが感じられ、まさに我が国の国民文化を象徴する国書です。これは世界に誇るべきものであり、我が国の悠久の歴史、薫り高き文化、四季折々の自然、こうした日本の国柄をしっかりと次の世代に引き継いでいくべきである。一人一人の日本人が明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる。そうした日本でありたいとの願いを込めた」と述べられました。

いよいよ我が国もそして教育界も新しい時代を迎えようとしています。私は学校経営の基本理念を「不易と流行」と考えています。いかに社会が変化しようが、時代を超えて変わらない不易なるもの、豊かな人間性、他人を思いやる心、自然を愛する心など、いつの時代の教育でも大切にされなければなりません。一方、学校は社会の潮流をしっかりと掴んでおく必要があります。なぜなら教育とは次世代の社会を担う人材を育成するという崇高なものだからです。私自身、改元される節目の年を宗岡中で迎えることに喜びを感じ、誠心誠意学校経営に取り組んでいく所存です。

目指す学校像 「師弟同行」

- 1 組織力を高め、生きる力をはぐくむ学校
- 2 教員の資質向上を図り、確かな学力をはぐくむ学校
- 3 保護者、地域住民との連携を深め、その地を支える学校